

〔ニテンピラム水溶剤〕

農林水産省登録 第19102号

性 状：青緑色水溶性細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：4 年

包 装：100 g × 60、500 g × 20

ベストガード® 水溶剤

有効成分：ニテンピラム10.0%

殺虫剤分類 4A



農薬ガイドの適用表内（＊）および各項目については、i-農力サイトの「製品情報」や「農薬ガイドを見る」から、「農薬ガイドの見方」をご参照ください。
本剤の最新情報：こちらの2次元バーコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 アール当り 使用液量	使用 時期*	総使用回数*	使用 方法		
ばれいしょ	アブラムシ類	1000～2000 倍	100～300 ℓ	14 日前	本 剤：4 回 ニテンピラム： #5	散布		
きゅうり	クロバネキノコバエ類			前日	本 剤：3 回 ニテンピラム： #1			
メロ すいか	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類			7 日前				
なす	カメムシ類			前日				
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 クロバネキノコバエ類							
カリフラワー ブロッコリー	アブラムシ類 アザミウマ類	2000 倍		前日	本 剤：3 回 ニテンピラム： #2	無人 航空 機による 散布		
ねぎ	クロバネキノコバエ類 ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	1000～2000 倍					前日	本 剤：3 回 ニテンピラム： #1
とうがらし類	コナジラミ類							
ピーマン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類							
だいこん	アブラムシ類							
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000 倍	1.6 ℓ	前日	2 回			
		16 倍					3.2 ℓ	
		32 倍						
いちご	チビクロバネキノコバエ コナジラミ類	2000 倍	100～300 ℓ		本 剤：3 回 ニテンピラム： #4	散布		
レタス	アブラムシ類				3 日前		本 剤：3 回 ニテンピラム： #1	
もも りんご								
なし	アブラムシ類 チュウゴクナシキジラミ カメムシ類 アザミウマ類	1000～2000 倍	200～700 ℓ	14 日前	3 回			

色掛けは2024年6月26日適用拡大

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用 時期*	総使用回数*	使用 方法	
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ	1000 倍	200～700 ℓ	30 日前	3 回	散布	
	コナカイガラムシ類 アザミウマ類	1000～2000 倍					
かんきつ	アザミウマ類 アブラムシ類						
かき	チャノキイロアザミウマ	1000 倍		7 日前			2 回
マンゴー							
モロヘイヤ	コナジラミ類	2000 倍	3 回				
食用べに ばな（花）	ナモグリバエ		2 回				
食用ぎく	アブラムシ類	1000～2000 倍	100～300 ℓ		本 剤：2 回 ニテンピラム： #3		
	コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ	1000 倍					
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～2000 倍	200～400 ℓ	摘採 7 日前 まで	2 回		
かんしょ	アブラムシ類		100～300 ℓ	育苗期	3 回		
アスパラガス	コナジラミ類	1000 倍		前日			
花き類・観葉植物 （ばら、きくを除く）	アブラムシ類	1000～2000 倍		発生 初期	4 回		
ポインセチア	コナジラミ類 チビクロバネキノコバエ	1000 倍					
	アブラムシ類	1000～2000 倍					
きく	コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ	1000 倍					
	アブラムシ類	1000～2000 倍					
ばら	アブラムシ類	1000～2000 倍		100～180 ℓ	10 日前		1 回
たばこ	タバコノミハムシ	2000 倍					

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用 時期*	総使用回数*	使用 方法
せり	水田	アブラムシ類	2000 倍	100～300 ℓ	14 日前	3 回	散布
せり （水耕栽培）	ガラス室等 の施設						

- #1：4 回（定植時までの処理は 1 回、定植後は 3 回）
#2：5 回（育苗期は 1 回、定植時は 1 回、定植後は 3 回）
#3：4 回（株元散布は 2 回、散布は 2 回）
#4：4 回（定植時の土壌混和は 1 回、株元散布及び散布は合計 3 回）
#5：5 回（植付時までの処理は 1 回、植付後は 4 回）



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- ボルドー液などアルカリ性の強い薬剤との混用はさける。
- ぶどうに使用する場合、袋かけ直前の散布では果粉が溶脱するおそれがあるので、使用をさける。

- せりに使用する場合は、水田以外での使用はさける。
- せり（水耕栽培）に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用する。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
 - 散布は各散布機種の散布基準に従って実施する。
 - 散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - 散布薬液の飛散によって自動車やカートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
 - 散布終了後は次の事項を守る。
 - ・使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - ・機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 蚕に対して影響があるので桑にかからないよう注意する。かかった場合 15 日間は給桑しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- マルハナバチに影響があるので注意する。
- 散布の際は農業用マスクなどを着用する。作業後はうがいをする。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- ベストガードはクロロニコチニル（ネオニコチノイド）系殺虫剤です。高い浸透移行性とトランスラミナー効果を兼ね備え、カメムシ目害虫及びアザミウマ目害虫などに対して高い効果を発揮します。
また難防除害虫のミカンキイロアザミウマやカメムシ類、コナカイガラムシにも防除効果が認められます。
- ユニークな殺虫作用：ベストガードは従来の神経系殺虫剤（有機りん剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤など）とは異なった作用を持ち、既存薬剤抵抗性アブラムシ類などに高い効果を示します。
- 低薬量で高い活性を持つ：低薬量でアブラムシ類・アザミウマ類・コナジラミ類・ヨコバイ類・カメムシ類・コナカイガラムシに経口及び経皮的に作用し、高い効果を発揮します。
- 効果の持続性に優れる：効果が長く持続するので経済性・省力性につながります。
- 浸透移行性・トランスラミナー効果に優れる：浸透移行性に優れるため、未処理部においても高い防除効果がみられます。
また葉表から葉裏へ成分が移行するトランスラミナー効果も兼ね備えています。

- 薬害の心配が少なく、多くの作物に利用出来る：野菜、果樹、茶、花き、たばこ幅広い作物に適用を持ち、幼苗期の散布においても薬害の心配が少ない薬剤です。
- 有用生物・天敵等に対する影響が比較的少ない：ケナガカブリダニ（ハダニの天敵）、ケシハネカクシ（ハダニの天敵）などに実用濃度で悪影響がなく、圃場試験観察にてクモ類に対する悪影響もないことが確認されています。
給桑による蚕に対する影響日数は15日です（散布16日目より給桑可能）。
- 顆粒タイプの水溶剤：水に溶けやすい顆粒状。薬液調製時に粉立ちが少なく散布者への配慮もしています。
作物に汚れがつきにくい事も特長のひとつです。
- コンパクトなボトル入り：コンパクトな超軽量ボトル入り。紙ラベルをはがすと容易につぶれ、小さくたたむことができます。